

支援対象校募集

高校生 科学教育大賞

バイオテクノロジー情報普及会

第5回

バイオテクノロジー情報普及会は、高校生の農業とバイオテクノロジーの理解促進につながる科学教育活動への支援を行う「第5回高校生科学教育大賞」を、2021年5月31日まで募集します。

バイオテクノロジー情報普及会は、持続可能な農業の実現や食料の安定供給に貢献するバイオテクノロジーの重要性をご理解いただくため、様々な活動を行っております。その一環として、これから担う高校生の皆様に「持続可能な農業」と「植物バイオテクノロジー」についてより深く学び考えるきっかけとしてもらうことを目的とした「高校生科学教育大賞」を2017年に設立し、支援対象となる科学教育活動を公募しています。最優秀校または優秀校に選ばれた学校には、1校当たり100万円を上限とし、申請いただいた活動費用の一部または全額を支援いたします。

第4回となった昨年、2020年は常総学院高等学校の「高校生（スマート）農業を始めるまでの全記録」が最優秀賞に選ばれ、申請額の全額となる50万円を、優秀賞の大阪府立園芸高等学校と山形県立置賜農業高等学校の各校に申請額の一部となる30万円を活動費用として支援させていただきました。

第5回となる本年2021年も、農業とバイオテクノロジーへの理解が促進されるような研究、また遺伝子組み換え作物やゲノム編集食品などに関するサイエンスコミュニケーション活動の計画やアイデアをお持ちの高校はぜひふるってご応募下さい。もちろん、生徒の皆様自らによる企画・応募も大歓迎です。

なお、活動計画の立案や実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の発生状況に留意しつつ感染対策の徹底をお願いいたします。バイオテクノロジー情報普及会は、「スチューデント・ファースト」の気持ちでがんばる高校生を応援したいと考えております。多くの応募が寄せられることを心よりお待ちしております。

活動費用として
最大
100万円支援

応募締切

2021年5月31日
23:59まで

お問い合わせ先

募集要項

募集対象 高等学校、高等専門学校における学校行事・部活動等の科学活動。

主 旨 生徒自身または一般消費者の「持続可能な農業」や「植物バイオテクノロジー」への理解が促進されるような、実現可能で具体的な研究やサイエンスコミュニケーション活動を支援する。

支援内容 最優秀賞(1校)、優秀賞(数校)に選ばれた学校に、申請いただいた活動費用の一部または全額を支援する。

- 1校当たり100万円を上限とする。
- 申請額より減額して支給される場合がある。

※活動費用:本活動に伴う、実験、調査、専門家派遣、施設見学、交通費、書籍購入、報告のための学会参加費等に係る費用の一部または全額。

※国内外の移動を伴う場合は、各学校の教員がコーディネート及び引率を行い、各学校の責任の下で実施すること。

※新型コロナウイルス感染対策として3密(密閉・密集・密接)を避けるよう配慮すること。

支援期間 2021年7月～2022年3月

※新型コロナウイルスの影響により、活動が2022年3月までに完了しない場合には2022年3月末時点の活動を以って活動報告書を提出するか、やむを得ず活動期限の延長を希望する場合には事前にバイオテック情報普及会に相談する。

利用規約 以下の規約を読み、同意した方のみ応募すること。応募書類をバイオテック情報普及会に送付した時点で、以下の規約に同意したものとみなす。

1. 支援金の取り扱い

- 申込書の支援金の使途に変更がある場合は、2021年10月末までにただちに当会に相談する。
- 支援金の使途について、領収書の提出等を求める場合がある。
- 本利用規約に違反した場合、本支援金を返還していただく場合がある。

2. 提出書類

- 本支援事業採択後に申込書の記載内容に変更がある場合には、ただちに当会まで連絡する。
- 学内外での活動終了後1か月以内に、本支援事業により実施した活動の成果について活動報告書を提出する必要がある。
- 採用された活動の概要及び活動報告書は、当会ウェブサイトにて公表する。

3. 成果の公表

- 受賞校は、本成果を公表するよう努力する。
- 受賞校は、本成果を学校内外で発表、報告する場合、当会に報告するとともに、本支援事業の交付を受けて行った活動であることを記載する。

応募方法 当会ウェブサイトより申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、E-mailに添付して下記のメールアドレス宛に送付する。応募は学校を通じて行き、各校3案件までとする。

申込先メールアドレス: secretariat@cbijapan.com

- 申込書は指定の書式を使用する。
- 支援金の具体的な使用方法等(例:実験機材購入費xx円、交通費xx円等)を明記する。
- 担当教員1名を申込責任者とする。
- 手書さは選考対象外とする。
- 学校名は伏せて審査するため、申請書2、3枚目の「活動の概要」には学校名を記載しない。

選 考 当会会員企業及び下記の委員からなる選考委員会において行う。

- 小泉 望氏(大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授)
- 小島 正美氏(食生活ジャーナリストの会 代表)
- 高島 賢氏(農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課 審査官)

応募締切 2021年5月31日(月) 23:59まで

発 表 2021年6月下旬頃、受賞校に通知する他、当会のウェブサイト上にて発表する。

申し込み・お問い合わせ先

バイオテック情報普及会 事務局

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-2 神田パークプラザ5階

- Tel 03-3525-4805
- E-mail secretariat@cbijapan.com
- URL <https://cbijapan.com>

※必要に応じて事前相談を受け付けております。
※右記のQRコードからウェブサイトへアクセスできます。



バイオテック情報普及会

COUNCIL FOR BIOTECHNOLOGY INFORMATION JAPAN

遺伝子組換え技術は、暮らしに役立つ可能性を育てています。

バイオテック情報普及会について

バイオテック情報普及会(英名:Council for Biotechnology Information Japan, CBIJ)は、植物科学やバイオテック作物の開発企業で構成する国際組織「クロップライフ・インターナショナル(本部ブリュッセル)」傘下の任意団体で、2001年10月1日に設立されました。本会は、「クロップライフ・インターナショナル」のビジョンである持続可能な農業の実現や食料の安定供給への貢献を念頭に、サイエンスベースで透明性ある許認可システムの構築を支援するための活動や幅広いステークホルダーの皆様へバイオテクノロジーの重要性をご理解いただくための広報活動を行っています。

バイオテック情報普及会 会員企業 (50音順)

- コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社 ●シンジェンタジャパン株式会社 ●ダウ・アグロサイエンス日本株式会社
- バイエル クロップサイエンス株式会社 ●BASFジャパン株式会社